

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年11月9日

【四半期会計期間】 第22期第3四半期(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森 下 一 喜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03 - 6895 - 1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03 - 6895 - 1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第21期 第3四半期 連結累計期間	第22期 第3四半期 連結累計期間	第21期
会計期間		自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日
売上高	(百万円)	69,996	61,763	92,306
経常利益	(百万円)	28,132	17,423	34,351
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	17,939	10,601	22,397
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	18,312	11,012	23,250
純資産額	(百万円)	57,420	71,697	62,412
総資産額	(百万円)	66,355	81,184	78,070
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	25.22	14.90	31.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	25.15	14.84	31.39
自己資本比率	(%)	82.5	83.5	76.0

回次		第21期 第3四半期 連結会計期間	第22期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	8.30	4.21

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場の緩やかな拡大と好調な家庭用ゲーム市場の成長に支えられ、平成29年は前年比13.7%増加し1兆5,686億円¹となりました。

一方、世界におけるゲームコンテンツ市場もスマートフォンの普及拡大に伴うモバイルゲーム市場の成長と家庭用ゲーム機の好調な販売によりパッケージゲーム市場も拡大したことから、平成29年は前年比21.1%増加し1兆8,964億円¹となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主に主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ(以下「パズドラ」)」の売上高が減少したことから、対前年度比で減収となりました。このような状況の中、当社では既存ゲームのMAU(Monthly Active User:月に1回以上ゲームにログインしている利用者)の維持・拡大、「新規価値の創造」に向けたグローバル配信前提のゲーム開発及びパートナー・パブリッシング事業に注力してまいりました。

既存タイトルにつきましては、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョンの追加やゲーム内容の改善、イベントの開催、他社有名キャラクターとのコラボレーションなどを継続的に実施してまいりました。平成30年9月22日には「東京ゲームショー2018」において、「パズドラ」のプロゲーマーの頂点を決めるeスポーツイベント「パズドラチャンピオンズカップ」を開催いたしました。これらのゲーム内外における積極的なイベントの実施により、「パズドラ」の業績は安定化してきております。

新規タイトルにつきましても、平成30年6月27日にサービスを開始したスマートフォン向け妖怪探索位置ゲーム「妖怪ウォッチ ワールド」は、継続的なテレビCMの実施や位置情報を活用した異業種とのコラボレーションを行ったことなどによりユーザー数が拡大し、平成30年9月14日に200万ダウンロードを突破いたしました。

また、新規事業につきましては、当社、吉本興業株式会社及び株式会社サイバーエージェントが出資する合弁会社mspo株式会社(エムスポ)が、モバイルゲーム向け新サービス「mspo」の提供を平成30年9月28日より開始いたしました。「mspo」は既存のゲームアプリ上に自動でトーナメントを生成し、ユーザーのマッチングからポイントの付与、ギフト券への交換まで全てをワンストップで提供してまいります。

連結子会社のGRAVITY Co.,Ltd.につきましては、現在韓国や台湾を始めとした一部のアジア地域で展開しているスマートフォン向けゲーム「Ragnarok M: Eternal Love」のサービス地域を拡大するため、タイやフィリピンなどの東南アジアにおいて平成30年9月19日より事前登録を始め、平成30年10月31日よりサービスを開始する予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は61,763百万円(前年同期比11.8%減)、営業利益17,265百万円(前年同期比38.7%減)、経常利益17,423百万円(前年同期比38.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10,601百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

1: ファミ通ゲーム白書2018

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、81,184百万円（前連結会計年度末比3,113百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、9,486百万円（前連結会計年度末比6,171百万円減少）となりました。これは主に、買掛金及び未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、71,697百万円（前連結会計年度末比9,285百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は888百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,212,000,000
計	3,212,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	952,103,160	952,103,160	東京証券取引所 市場第一部	(注)1、2、3、4
計	952,103,160	952,103,160		

- (注)1．完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
- 2．提出日現在、発行済株式のうち243,080,000株は、現物出資（関係会社株式1,999百万円）によるものであります。
- 3．単元株式数は100株であります。
- 4．提出日現在発行数には、平成30年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日		952,103,160		5,338		5,331

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式240,883,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 711,200,600	7,112,006	
単元未満株式	普通株式 19,160		
発行済株式総数	952,103,160		
総株主の議決権		7,112,006	

(注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 「単元未満株式」欄の株式数「普通株式19,160株」には、当社所有の単元未満自己保有株式38株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) ガンホー・オンライン・ エンターテイメント 株式会社	東京都千代田区丸の内 一丁目11番1号	240,883,400		240,883,400	25.30
計		240,883,400		240,883,400	25.30

(注) 1. 上記自己保有株式には、単元未満株式38株は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間に新株予約権の行使に伴い自己株式の処分を行ったため、当第3四半期会計期間末の自己株式数は240,617,438株となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,031	63,049
売掛金	10,694	8,582
有価証券	1,949	145
商品	4	2
仕掛品	174	394
繰延税金資産	233	95
その他	1,852	1,729
貸倒引当金	26	8
流動資産合計	70,913	73,990
固定資産		
有形固定資産合計	522	418
無形固定資産		
ソフトウェア	307	573
ソフトウェア仮勘定	1,112	1,110
その他	221	110
無形固定資産合計	1,642	1,794
投資その他の資産		
投資有価証券	481	75
繰延税金資産	1,691	1,715
その他	2,945	3,311
貸倒引当金	126	122
投資その他の資産合計	4,991	4,979
固定資産合計	7,157	7,193
資産合計	78,070	81,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,230	1,842
短期借入金	200	
1年内返済予定の長期借入金	146	177
未払法人税等	4,707	1,508
賞与引当金	6	15
その他	4,805	4,667
流動負債合計	14,097	8,211
固定負債		
長期借入金	154	159
その他	1,406	1,116
固定負債合計	1,560	1,275
負債合計	15,658	9,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,474	5,487
利益剰余金	128,609	137,066
自己株式	80,118	80,027
株主資本合計	59,303	67,866
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32	109
その他の包括利益累計額合計	32	109
新株予約権	727	839
非支配株主持分	2,348	3,101
純資産合計	62,412	71,697
負債純資産合計	78,070	81,184

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	69,996	61,763
売上原価	25,294	26,881
売上総利益	44,702	34,881
販売費及び一般管理費	16,526	17,615
営業利益	28,175	17,265
営業外収益		
受取利息	41	64
為替差益		84
その他	26	15
営業外収益合計	67	164
営業外費用		
支払利息	12	3
為替差損	90	
その他	7	2
営業外費用合計	110	6
経常利益	28,132	17,423
特別損失		
減損損失	1,385	690
投資有価証券評価損		31
特別損失合計	1,385	722
税金等調整前四半期純利益	26,746	16,701
法人税、住民税及び事業税	8,421	5,383
法人税等調整額	106	106
法人税等合計	8,528	5,489
四半期純利益	18,218	11,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	279	610
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,939	10,601

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	18,218	11,211
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	93	199
その他の包括利益合計	93	199
四半期包括利益	18,312	11,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,013	10,459
非支配株主に係る四半期包括利益	298	552

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
減価償却費	1,004百万円	954百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,133	3.00	平成28年 12月31日	平成29年 3月7日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成30年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,133	3.00	平成29年 12月31日	平成30年 3月7日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	25円22銭	14円90銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	17,939	10,601
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	17,939	10,601
普通株式の期中平均株式数(株)	711,182,543	711,269,239
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	25円15銭	14円84銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)	2,074,344	2,855,420
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月7日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社
取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員
公認会計士 千代田 義央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。